



2020年
2月4日
No.A19-10

中東調査会は個人及び法人会員の賛助会費により運営されている非営利の公益財団法人です

中東調査会月間活動誌 (2020年1月)

1. 中東調査会主催の行事

(1) トップミーティング

- ・1月29日(水)、秋葉 剛男 外務事務次官
「2020年の日本外交の展望」(於:オークラ東京)



<要旨>

2020年に予定されている日本の主要な外交行事について展望しつつ、目下の新型コロナウイルスをめぐる中国への対応を含めた日本にとっての外交課題について、また中東地域に関しては日イラン間の首脳往来をはじめイラン情勢を中心に説明した。質疑応答では、日本の対アジア、とりわけ対中国外交等について質問があった。

(2) 中東特別講演会

- ・1月9日(木)、山本 忠通 国際連合事務総長特別代表 兼 国連アフガニスタン支援ミッション代表「アフガニスタン情勢の展開と国連」(於:法曹会館「高砂の間」)

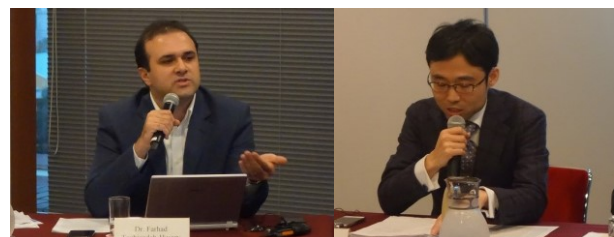


<要旨>

アフガニスタンにおける紛争の概要、和平交渉の推移、大統領選挙等について報告がされた。また、問題の解決に向けて、国連に求められる役割及び課題について説明がされた。質疑では、汚職、和平交渉、イスラーム過激派の動向、国際社会の対応等に関する質問が出た。

(3) 国際情勢シンポジウム

- ・1月20日(月)、「自由で開かれたインド太平洋」と中東——港湾開発、連結性、地域秩序への含意——、ジャガナート・パンダ・インド国防問題研究所(IDSA)東アジア研究センター長、鈴木均 JETRO アジア経済研究所 上席主任研究員、笠井亮平 岐阜女子大学南アジア研究センター特別研究員、ティトリ・バス IDSA アソシエート・フェロー、ファルハード・タギーザーデ・ヘサーリー 東海大学 准教授、研究員 青木健太(於:日本記者クラブ「会見場」)



<要旨>

登壇者より、各々インダの対中東政策、米・イラン対立とチャーバハール港開発、中国の一带一路とグワダール港開発、並びに、中東における日印インフラ協力について報告した。討論・質疑では、オマーンのドゥクム港開発、港湾開発に対する各国の狙い、EUを含めた多国間協力の可能性などに関する質問が出た。

(4) 中東情勢講演会

- ・1月31日(金)、八塚 正晃 防衛研究所研究員「中国が中東に進出する背景：軍事的関与を中心に」(於：日本記者クラブ「会場」)

<要旨>

講演では中国が中東に関与する背景、中国の中東政策の特徴等について報告がされた。また、中国国内における、対中東関与への積極論と慎重論、今後の見通しについて説明がされた。質疑では、中国のイラン核合意に対する対応、ドゥクム港への投資状況、米・露関係等に関する質問が出た。



2. 中東調査会の活動

(1) 中東トピックスの発行【会員限定】

- ・2020年1月号(2020年2月4日付)
- 1. アラビア半島：安倍首相のサウジ・UAE・オマーン訪問
- 2. イスラエル・パレスチナ：米国の中東和平案
- 3. イラン：ウクライナ機誤射と反体制デモ
- 4. トルコ：リビアにトルコ軍部隊を派遣
- 5. リビア：ベルリン会議後も続く戦闘
- 6. レバノン：ディヤブ内閣が発足

※内容はホームページをご参照ください。

(https://www.meij.or.jp/trend_analysis/topics/)

(2) 中東分析レポートの発行【会員限定】

- ・No.8「2019年中東情勢の回顧」(1月21日)

※内容はホームページをご参照ください。

(https://www.meij.or.jp/trend_analysis/report/)

(3) イスラーム過激派モニターの発行【会員限定】

- ・No.14「「イスラーム国」の週刊誌の解析#1」(1月23日)
- ・No.15「「イスラーム国」の活動が「新段階」に入る??」(1月28日)

※内容はホームページをご参照ください。

(https://www.meij.or.jp/trend_analysis/monitor/)

(4) 中東かわら版の発行

- No.165「イラン：ソレイマーニー革命防衛隊ゴドス部隊司令官殺害とその波紋」(研究員 青木健太、1月6日)
- No.166「イラク：イランの革命防衛隊がアメリカ軍基地をミサイル攻撃」(主席研究員 高岡豊、1月8日)
- No.167「湾岸・アラビア半島：革命防衛隊による報復攻撃とその余波」(研究員 高尾賢一郎、1月8日)
- No.168「イラン：革命防衛隊が「殉教者ソレイマーニー」作戦を開始」(研究員 青木健太、1月8日)
- No.169「アルジェリア：ジャラード内閣の成立」(研究員 金谷美紗、1月9日)
- No.170「オマーン：カーブス国王の崩御とハイサム新国王の即位」(研究員 高尾賢一郎、1月14日)
- No.171「レバノン：債務不履行の危機」(主席研究員 高岡豊、1月17日)
- No.172「イラク：反政府抗議デモが一段と激化」(主席研究員 高岡豊、1月21日)
- No.173「レバノン：新内閣が発足」(主席研究員 高岡豊、1月22日)
- No.174「イスラエル・パレスチナ：トランプ大統領が中東和平案を公表」(研究員 西舘康平、1月29日)
- No.175「GCC：中東和平案への反応、翻弄される「パレスチナ」というアジェンダ」(研究員 高尾賢一郎、1月30日)
- No.176「イラン：米国が原子力庁への経済制裁、及び、人道支援強化を発表」(研究員 青木健太、1月31日)

※内容はホームページをご参照ください。

(<https://www.meij.or.jp/kawara/>)

(5) その他の活動

- ・1月27日(月) 14時30分～15時30分、

当調査会の浅子副理事長と高岡主席研究員は、イスラエル・パレスチナ合同青年招聘者の一行と会見した(於：外務省)。



3. その他 (要人往来)

- ・12日、安倍首相は訪問中のサウジアラビアでサルマーン国王、及びムハンマド皇太子と会談した。
- ・12日、安倍首相は訪問中のサウジアラビアでファイサル・ビン・ファルハーン外相、及びアブドゥルアジーズ・ビン・サルマーン・エネルギー相と会談した。
- ・13日、安倍首相は訪問中の UAE でムハンマド・ビン・ザーイド・アブダビ皇太子兼 UAE 軍副最高司令官と会談した。
- ・14日、安倍首相はオマーンのカーブス前国王の崩御に伴い、ハイサム国王を弔問し懇談した。
- ・14日、安倍首相は訪問中のオマーンでアスアド国際関係・協力担当副首相、及びファハド閣僚評議会担当副首相と会談した。

4. 今後の予定 (2月)

- ・2月7日(金)、14:30～16:00、於：日本記者クラブ「会見場」、中東情勢講演会(辻 昭弘 外務省中東アフリカ局中東第二課長「最近の中東情勢～イラン情勢と総理の中東訪問を中心に～」)
- ・2月18日(火)、8:30～10:00、於：オークラ

東京プレステージタワー7階「メイプル」、朝食会（佐々木 伸信 日本貿易振興機構（ジェトロ）理事長「今後の中国とどう向き合うか（仮）」）***法人会員限定**

※やむを得ない事情により、日時や会場が変更になることもございますのでご了承ください。また、この他にもイベントを開催することもございます。詳細等と併せまして、配信メールやHPをご参照ください。

(<https://www.meij.or.jp/event/>)

*会員の皆様は、どなたでも会員限定ページをご覧になれます。

*ログインに必要なIDとパスワードは、御社の当会担当窓口にお問い合わせください。